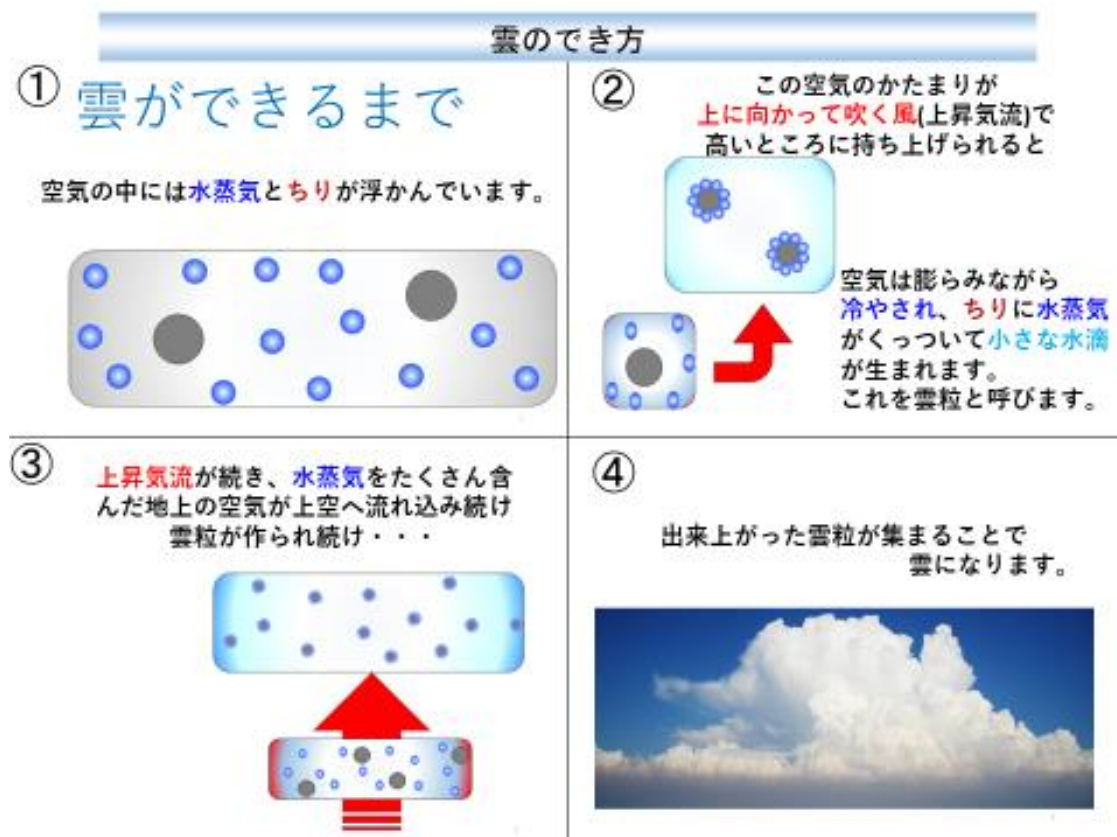


「雲の作り方」

【第14回】雲の作り方

航空気象群ホームページのコラム「気象の杜」へようこそ！第14回は、航空自衛隊小牧基地にある小牧気象隊から雲についてご紹介したいと思います！

みなさんは、空に浮かんでいる雲がどのようにしてできているか知っていますか？曇ができるまでのしくみは実は・・・このようになっています！（下図）

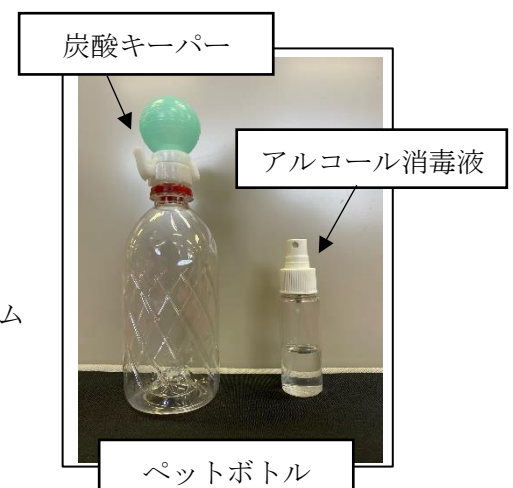


そして、雲は家にあるもので簡単に作ることができます！家で雲を作る実験方法を紹介しますので、是非雲を作ってみてください。実験では、水のかわりに気体になりやすいアルコールを使います。

※注意：小さなお子さんは必ず保護者の方と一緒に行ってください。

・用意するもの

ペットボトル、アルコール消毒液、炭酸キーパー(100円ショップ、ホームセンターやスーパーなどに売っています。)



・実験方法

- ① ペットボトルの中に水滴がしっかりとつくぐらいアルコール消毒液を吹きかけます。
- ② ペットボトルに炭酸キーパーをつけて、ポンプを押して中に空気を入れます。この時、ポンプがこれ以上押しなくなるまで、空気を入れることでペットボトルの中の空気が圧縮されて気圧が高い状態になります。
- ③ 最後に炭酸キーパーのキャップを一気に外すと「ポン！」という音をたて、一気に空気が外に出ていくことで、ペットボトル内の気圧が低くなり、ペットボトルの中に雲ができます。



①



②



③

6月は梅雨の時期であり外に出かけることができず、おうち時間が増えると思います。ぜひ、その機会を活用しておうちで実験してみてください！これをきっかけに気象に興味を持っていただけると嬉しいです。